

# Vol.04 令和6年度 第4回 ダムパークいばきた全体会議



日時：令和7年1月25日（土）14:00～15:30  
 場所：ダムパークいばきた 多目的室A  
 参加人数：26人

- はじめに
- 指定管理者・事業者からの報告
  - ダムパークいばきた
  - グラビティパーク
- ダムパークいばきたコミュニティ・中間支援コーディネーターからの報告
  - ホームページの作成状況、活動実績、臨時総会開催の案内
  - 日常活動プログラムについて
- ワーク：フェスの成果と課題、次年度フェスのあり方について

## 当日の様子

今年度4回目となる全体会議を開催しました。この会議では、ダムパークいばきたの活性化を目的に活動する団体や事業者等が、それぞれの活動について発表を行い情報共有を図っています。今回は新規参加者に向けて前回の振り返りを別で行ったのち、ダムパークいばきた指定管理者から公園利用実績の報告と公園での取り組み事業の紹介、今春開業予定の吊り橋について、工事進捗などの報告が行われました。続いてダムパークいばきたコミュニティより会の活動報告が行われ、中間支援コーディネーターから日常活動プログラムの実績報告が行われました。最後に会議参加者全員でのワークショップとして今年度開催した「ダムパークいばきたフェスティバル」の①成果と②課題、事務局から示した来年度フェスの取組み案も参考に、③次年度のフェスのあり方といった3つのテーマについて、テーブルごとに挙がった意見を発表、共有を図りました。



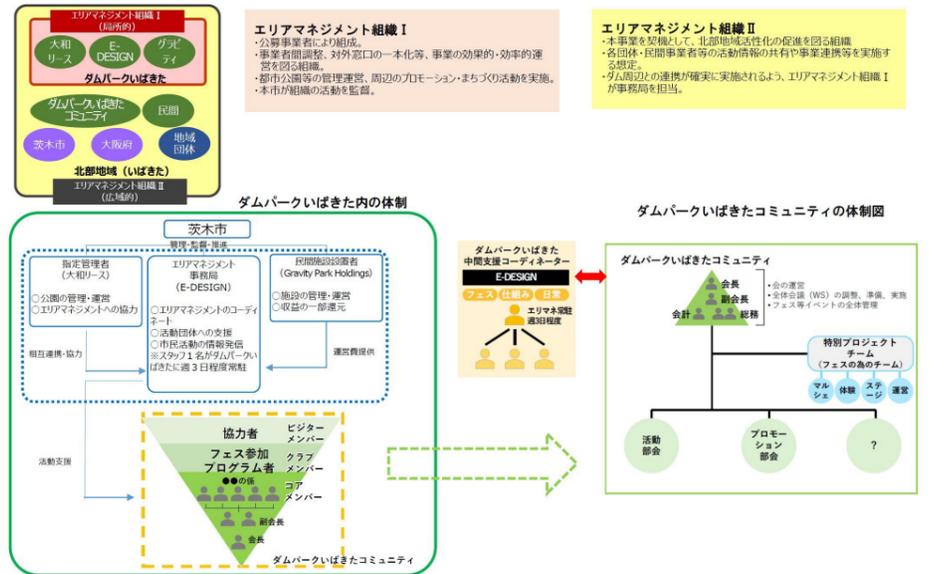
## ふりかえり：事業概要とこれまで

### 【事業概要】

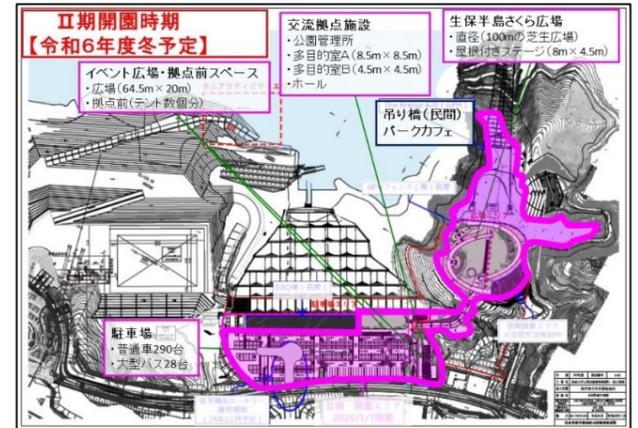
“エリアマネジメントⅠ”はダムパークいばきたにおける事業者を中心に、公園で活動する個人、団体、企業等の支援を行いながら協働連携して地域活性化を図っていく組織です。エリアマネジメントⅡでは、活発かつ効果的なエリアマネジメント活動を発展的につなげ、北部地域全体について、観光や学び等の場としての価値を高めていき、地域活性化につなげていくことを目指しています。

下図は安威川ダム周辺整備のスケジュールと、「ダムパークいばきた」の今後の開園予定です。今後は多目的運動広場などの予定しておりますので、更に賑わいが創出されると期待しています。

### ダムパークいばきた及び北部地域（いばきた）におけるエリアマネジメントについて



令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
10~12月 1~3月 4~6月 7~9月 10~12月 1~3月 4~6月 7~9月 10~12月 1~3月	10~12月 1~3月 4~6月 7~9月 10~12月 1~3月 4~6月 7~9月 10~12月 1~3月	10~12月 1~3月 4~6月 7~9月 10~12月 1~3月 4~6月 7~9月 10~12月 1~3月	10~12月 1~3月 4~6月 7~9月 10~12月 1~3月 4~6月 7~9月 10~12月 1~3月
●ダム事業(府)	安威川ダム建設工事	安威川ダム関連工事	安威川ダム供用開始
●公園整備事業	12/10だむチャレ!	5/27ダムパークいばきたフェスティバル	一部施設オープン
●公共施設	基本設計	一期 公共施設整備	二期 公共施設整備
●民間施設設計	民間施設設計	民間施設整備(吊り橋エリア)	
●ダム直下広場	広場設計(府)	整備工事(府)	開園準備・公園供用開始
●多目的運動広場	基本設計及び実施設計		
●上流広場	基本設計及び実施設計	整備工事	施設社会実験運用開始
●橋内広場	基本設計及び実施設計		整備工事



### 【これまで（2013年からの組織の成り立ち）】

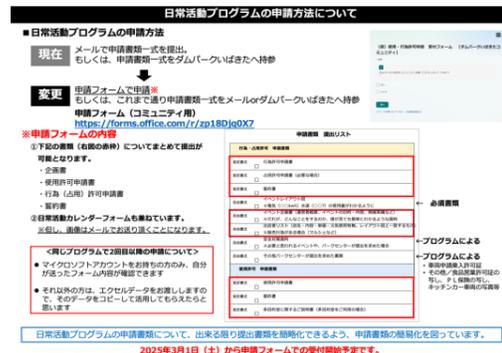
中間支援コーディネーターを務めているE-DESIGNは、ダムパークいばきたや安威川ダムが出来る前から、地域活性化の取組を検討してきました。これまでの取組み内容をまとめたものが右図です。

最初は“安威川ダムファンづくり会”（大阪府）を立ち上げ、チームを構成して安威川フェスなどを実施しました。また、安威川ダムや周辺情報を発信する“安威川ニュース（タブロイド版）”とWEBを制作しました。

その後、安威川ダム周辺整備事業の参加者として取組を引き継ぎ、公園の使いこなしワークショップを重ね、整備前の公園で令和4年12月に社会実験「だむチャレ!」、令和5年5月には「ダムパークいばきたフェスティバル」を実施しました。

# ダムパークいばきたコミュニティについて

## 【日常活動について】



ダムパークいばきたコミュニティからは現在作成中のホームページと入会方法の変更検討、中間支援コーディネーターより日常活動の申込方法に申請フォームによる手続きが追加されることについての説明がありました。また出席会員より、環境学習の視点から新しい日常活動プログラムの実施に関する提案がありました。こちらについては後日、中間支援コーディネーターが詳細を伺い、早速プログラム実施してもらうための手続きを進めてもらうこととなりました。

**10月**

- 5プログラム開催 (参加人数 40名)
- ※「ダムパークいばきたフェスティバル」開催月
- 「YogaKalam ダムパークいばきたクラス」
- ・5月より毎月、毎週金曜開催 (月4～5回)
- ・日常活動で唯一の定期開催
- 「茨木のヒロシとラジコンをしてみよう」
- ・6月より毎月開催し、来園者の動向を分析
- ・試行錯誤を繰り返してベストな方法へ

**11月**

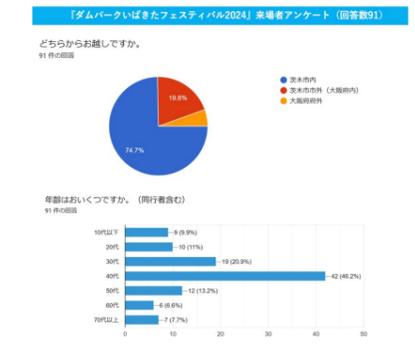
- 16プログラム開催 (参加人数283名)
- ・新しく4プログラムが登場し多様なプログラムを開催
- ・ふむふむパーク
- ・安藤川川岸M&C
- ・伝統的なお茶の淹り方体験
- ・トイドローンでお茶作り体験
- 11/24には6プログラムが「連携」するかたちで同時開催
- ・茨木市主催イベントに協力
- ・マーカーで行くいばきたの鴨川発見ツアー
- ・ツリーイング (木登り体験)
- ・竹もちゃ作り

**12月**

- ※道路に誘導看板の設置などのアイデア
- 12プログラム開催 (参加人数428名)
- ・「連携」によるプログラム実施
- 日程を合わせ、3プログラム、2プログラムなど同時開催
- 賑わいが生まれた

# ダムパークいばきたフェスティバルについて

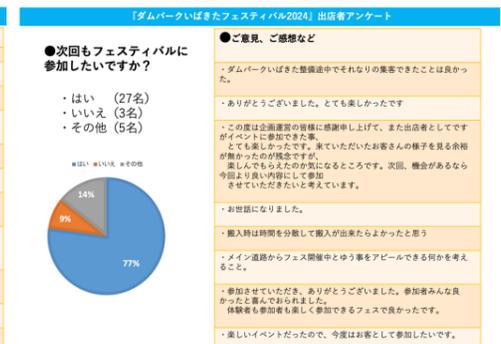
昨年10月26日に実施した「ダムパークいばきたフェスティバル2024」の実施報告を行いました。当日の来場者数、駐車場利用台数や実施プログラムなどの実績報告のほか、来場者や出店者にご協力いただいたアンケートの集計結果や頂いたご意見などについての発表もありました。



「ダムパークいばきたフェスティバル2024」来場者アンケート

●ご意見、感想など

- 子どもがシールをもらえて喜んでいました。ありがとうございました。
- 関係者の皆様には感謝申し上げます。継続して地域を盛り上げてほしいです。
- 楽しかったです。ありがとうございました。継続した集客を期待しています
- 入場料が必要なフェスであれば、もっと規模を大きくしてほしい。今回の様な規模であれば入場料は不要だと思う。
- シャトルバスが無料だったら臨時駐車場の利用もアリなのかも。
- ダムツアーができて大変良かったです
- 子供がいろいろな体験ができて喜んでいました！これからイベントを増やしてほしいです
- 小さなお子さんの家族連れが多かったので、もっと子供さんが喜ぶ飲食メニューやお店、ステージがあれば、家族連れで自然の中で楽しめるイベントとしていきたいと思います。個人向けには「登山の跡」の観音入りが嬉しいです。
- とても雰囲気良かったです。他にも無料で遊べるコーナー等あれば良いと思います。SNSで、モルツとか。
- 道にそってお店が正面の方が、見やすいと思う
- 色々体験出来て、楽しかったです。ちょうど良い規模感でした。



# ワーク：ダムパークいばきたフェス2024の成果と課題、次年度について

①ダムパークいばきたフェスティバル2024での成果と課題について、テーブルごとに参加者で話し合いをし、意見を出して頂きました。

フェス2024での成果

- ・安威川ダムのロッククライミング 当日も予約なしで！！
- ・市民の方との交流ができた
- ・午前と午後の予約は人が分散して良かった
- ・芝生の上で楽しんでいただけた
- ・堤体登山 市長はじめ体験された方からは大変喜んでもらった
- ・堤体登山は非日常体験で良かった
- ・渋滞緩和できた！

フェス2024での課題

- ・規模縮小
- ・日中不可
- ・CMをやろう
- ・大阪駅などでお金かかるけどアピールするアピール力
- ・チラシもありですけど看板 (この先ダムパークいばきたまで残り100m)
- ・ゆるキャラ 新しいグッズ おみやげ
- ・ブースの向き 体験ブースの向きが逆の方が見てもらいやすかった
- ・日中での開催
- ・交通問題
- ・集客方法が課題
- ・セッティング時危なかった (車)
- ・子供達が遊べる所が少ない
- ・出店数ふやす？ (スペースの有効活用)
- ・テントの場所を考えてほしい (足元が悪かった)
- ・遠くから出店テントを見た時に何の店か判りづらかった。もっと看板やのぼりをつくることで賑わいが出ると思う
- ・規模を抑えたために催し物が少ない感じがした。そこに加え入場料が必要などところで不満の声もあった。

②次年度フェスティバルのあり方 (開催形式や内容など) について、参加者で話し合いをし、意見を出して頂きました。

次年度フェスのあり方について

■開催のタイミング (日程や時間帯など) について

- ・平日
- ・日中に実施
- ・時間帯を検討
- ・頻度を増やす
- ・マルシェの時間は夕方よりも昼の方がいいです。1日だけならつり橋の来場者とかぶってもいいのでは？
- ・時間AM11時～翌日10時まで。お祭りスタイルで入場時間を分散する
- ・開催時間ですがスライドしなくても良いと思う

■内容について

- ・ダム湖のアート 噴水映え
- ・星空
- ・泊まり
- ・夜のフェスなら花火
- ・インスタ映えできる地面に明かり。イバラキイルミネーション
- ・夜市だとランタン
- ・ナイトプログラム・宿泊・キャンプファイヤー
- ・音楽フェス アットホームコンサート
- ・ナイト 大人向けの飲食 (屋台など)
- ・マルシェ。夜はなし！！

■運営について

- ・ルーチン化
- ・ファミリーが参加しやすいイベント
- ・別駐車場からシャトルバスでの運送
- ・入場後混雑の解消法はないか
- ・公共交通機関利用限定 もしくは徒歩
- ・セッティングを昼からするのはムリ。車や人が危ない
- ・春と秋や春夏秋冬など年に数回やるべき
- ・規模は縮小しないほうがいいです
- ・お客さんが来て大きなイベントで色々見ることができて楽しめるようにフェスの規模は大きくしてもいいと思う
- ・共存する必要ある？
- ・となりどおしのスペースがほしい
- ・臨時駐車場と会場との間の移動にマイクロバス以外に貸し自転車を活用する (途中交差点にガードマン立ってもらう)
- ・入場料はない方がいいのでは？
- ・誰に向かって何の為にやるのか深掘りする

■PRについて

- ・先にフェスの広告を出しとけばつり橋の来場者も日付を考えて来るのでは？
- ・逆に広告を出さずに、来たら「フェスやってた～」みたいなのも良いのでは？
- ・広告費をなくすためフライヤーは不要。SNSで広告をうてばいい
- ・フェスの情報発信やサービス